

さいたま市民医療センター小児科に通院歴のある方へ

当院では地域連携医療機関として多くの感染症の小児の診療を行っています。また小児の一部の疾患は、感染症と関連がある事が知られています。

【研究課題】

小児疾患と感染症との関連に関する後方視研究

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関　さいたま市民医療センター　小児科

研究責任者　小児科　診療部長　西本創

担当業務　データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

研究機関　なし

【研究期間】

令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

【対象となる方】

2009年3月1日～2020年4月30日の間に当院小児科で感染症の診療を受けた患者さん、および感染症と関連があると考えられている疾患（IgA 血管炎、川崎病、気管支喘息、ギラン・バレー症候群、急性弛緩性麻痺など）の診療を受けた患者さん。

【研究の意義】

当院には感染症および感染症に起因する疾患の患者さんが多く受診されますが、同じ疾患の患者さんの過去の統計情報や治療成績を知る事で、将来の患者さんの治療の見通しが立ちやすくなります。

【研究の目的】

感染症および感染症関連疾患の過去の患者さんのデータを用いて、各感染症の特徴を明らかにします。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、微生物検査結果、画像検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの診療情報は、インターネットに接続されていない院内診療端末で取り扱います。解析の際は、一時的に住所・生年月日等の個人情報を収集しますが、最終的に感染症流行地域（市町村名）や年齢を算出して統計的に全体の傾向を示すために用い、個人情報として外部に公開する事は一切ありません。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2020年9月30日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、当院小児科の研究費から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。
尚、あなたへの謝金はございません。

2020年6月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 小児科

住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1

電話：048-626-0011